

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 牧本 武蔵 (まきもと むさし)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私は今回の留学で日本とオーストラリアの様々な文化の違いに触れましたが、特に食文化の違いについてたくさん学びました。私は2週間の間にオーストラリアの普段の食事から特別な料理まで様々なものを食べ、また、ホストファミリーとともに食材を調達し、ホストファミリーに夕食を作った事もありました。

この体験から学んだことは2つあります。

1つ目は肉にとってもこだわるということです。私はホストファミリーにハンバーグを作るためにスーパーマーケットに行き買い出しをしましたが、売られている肉の種類がとても豊富でした。しかもどれも日本のものより安価で、料理をしてみると品質のいい肉でとてもおいしかったです。安価な理由は、肉の多くがオーストラリア産であることと、kg単位で販売しているのでもれもパックが大きいことではないかと思います。

2つ目は、本当の日本食はまだオーストラリアにはあまり浸透していないということです。たしかに、いたるところで寿司屋らしき店は見かけますが、店にはにぎりずしのメニューは3つくらいしかなく、代わりに知らない名前の料理がメニューにいっぱいありました。スーパーマーケットでも20～25種類ほどの米が売られていたのですが、ほとんどはインディカ種と呼ばれる粒の細長いもので、日本でよく食べられるような米は1、2種類くらいしかありませんでした。しかし、その米を買い、家に帰って鍋で炊いてみると結構おいしく、おにぎりを作るとホストファミリーに大好評でした。

以上の2点から、私は日本とオーストラリアはもっと食文化を交流するべきだと思いました。日本人はまだ、オーストラリアの肉の美味しさをよく知りませんし、オーストラリアの人はまだ、日本食の魅力の一部しかわかってないからです。交流を通してお互いの良さを認識し、それぞれの生活に取り入れて、よりよい生活にしていきたいです。